Praxis Level 3

Lesson 3 Stage 3

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)
① What is science? This question may seem easy to answer: everybody knows that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute science, while subjects such as art, music, and *theology (ndo not. But when as philosophers we ask what science is, that is not the sort of answer we want. We are not asking for a mere list of the activities that are usually called 'science'. Rather, we are asking what common feature all the things on that list share, i.e. what it is that makes something a science. 2) this way, our question is not so trivial.

Grammar Practice

① tough 構文

This question may seem easy to answer 「この質問は(こたえる)のが(簡単)に思えるかもしれない」

〈文法のポイント〉

to answer の目的語を主語である(This question)が兼ねる。

形式主語構文 it is 形容詞 to do に書き換え可能!

書き換えてみよう

2 everybody / everyone は…?

Everybody knows that ...

〈文法のポイント〉

everybody / everyone は単数扱いが原則なので、動詞には三単現の(-(e)s)をつける。

- 3 S+V, while s+v
- ··· everybody knows that subjects such as ··· constitute science,

while subjects such as ... do not.

〈文法のポイント〉

while s+v は $\lceil s+v \rceil$ する (一方で)」という意味で (対比)を表す。

4 繰り返しを避けるための省略

〈文法のポイント〉

do not の後に省略された要素は〈直前の同じ要素から復元〉

動詞を探そう=> (constitute) 意味は?「…を(構成)する」

解答と解説

1. 解答 constitute science

下線部(1) do notの後ろは**繰り返し**を避けるために省略されている。ここでは**while節(対比を表す節)が主節と対照的なこと**を述べているが、主節と同じ**〈動詞+目的語〉**を繰り返さないように**省略**が起こっている。よって、do notのあとに**主節の constitute science** が省略されている。

ポイント 対比の節内で主節と対照的な内容を述べる場合、省略が起こる

The former directly **affect our lives** while the latter **do not**. (前者は私たちの生活に直接影響を与えるが、その一方で、後者はそうではない。)〈東京都立大〉

省略は簡潔な英文を書くために使われる。

But when as philosophers we ask what science is, **5that** is not **6the sort of answer we want**.

⑤ that が指すものは?

〈文法のポイント〉

前文の everybody knows that …に続く内容

[物理、化学、そして生物といった科目が科学を構成し、その一方で、美術、音楽、神学といったものはそうではないということ]

⑥ the sort of answerとwe wantの関係は?

〈文法のポイント〉

we want で「欲しいものは?」

⇒ the sort of answer

「(私たちが求める) 答えのようなもの」と捉えよう!

名詞のあとに S+V が続く場合 = 名詞 S+V は〈関係代名詞の[省略]〉の合図!

the sort of answer [(that) we want]

かたち: 名詞 S+V いみ: 「S+V する名詞」

⑦ that の働きは何でしょう? 〈文法のポイント〉 名詞 that are …と来たら a mere list of the activities [that are usually called 'science'] that は(関係代名)詞 日本語に直すときは…? that are 以下を先に、a mere list …を後にする 「(通常「科学」と呼ばれる)活動の単なるリスト ® share の主語は? 〈文法のポイント〉 V を見つけたら、次は主語を把握しよう Rather, we are asking what common feature all things on that list **share**, ... share の主語は… 1) that list 2) all things 3) what common feature 4) what から list まですべて 9 what is it that V … 〈文法のポイント〉 what is it that makes … は「…とするものは何か」と読もう。 1. what はもともとどこにあったの? (it is)と(that)のあいだ! 2. It is S that V \cdots は「V なのは S だ」のように、S に焦点を当てる表現!(強調構文!サポートノート p. 35) 今回はS=(what)になっている! 今回、what を強調したいので、(it is)と(that)のあいだに置いている! (注:疑問文なので、そのあとに文頭に移動する) 元の文(強調する前の文)は it is と that がない形 実際に書いてみよう 日本語は? あるものを(科学)にするのは(なにか)?

ヒント! make OC「OをCにする」/ something「あるもの、なにか」



4. Tips for Reading & Grammar

空所に入る言葉を考えて、英文の読解に役立つポイントを押さえ ましょう。

 $ll.6 \sim 7$ we are asking ... what it is that makes something a science Tips〉(強調構文(分裂文)のwh-疑問文) 基本形: it is 注目(強調)したい語 that [△]. STEP 1: It was a good fountain pen that Mr. Suzuki bought [\triangle] yesterday. STEP 2 : What was it [\triangle] that Mr. Suzuki bought [\triangle] yesterday? a good fountain penがwhatになると に移動し、疑問文 (What is it that ...?) の形を作る。

本文では、we are asking ... に続く間接疑問の形になっていることにも注意。

⑩ 文頭から過去分詞の時は…?

〈文法のポイント〉

Understood this way の understood は(過去分)詞!

- ⇒「…(理解された)」という受動態(受け身)の意味になる!
- つまり Understood this way は「このように(理解される)と」
- ⇒では「なにが理解されるの?」(Understood の意味上の主語は?)
 - Our question
 a science

ヒント!分詞構文の意味上の主語は主節の主語!

難!Our question の具体的内容を指す英文を教えてください。

2. 解答 a. Understood

ポイント〉〈分詞構文(受動態)〉現在分詞や過去分詞を置いて分詞構文を作る場合,主節の主語との関係に注 目しよう。ここでは主節の主語がour questionなので「私たちの問いが理解される」のように主 **語と分詞が受動態(…される)の関係**にあることに気づくことが大切である。受動態の分詞構文は 〈being+過去分詞〉で表されるが、頭にbeingがくる場合は、beingが省略される傾向にある。 (our question being) Understood this way, our question is not so trivial.

分詞構文の意味上の主語=主節の主語を代入

this wayは「このように」なので、「私たちの問いがこのように理解されると」という意味にな る。×To understand this way (この方法を理解するために)とすると、「私たちの問いはそれ ほど簡単なことではない」という主節とつながらない。